

我孫子市消費者の会

# お知らせ

2020年10月21日 第46期 No. 7-531

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syohisyanokai.net/wp/>

すっかり秋になりました。と書き始めましたが、秋を越えて冬のような寒さの日もありました。皆様お元気でしょうか？

## 新入会員のお知らせ

嬉しいことに会員さんが入会されました。

滝口信子 天王台5-2-1-603

電話 7183-5389

## コロナ対策のチラシ

新型コロナウイルスは相変わらずの状態です。消費生活パネル展（2021年2月の予定）のために、基本的なコロナ対策のチラシを消費者の会として作りました（加藤さん作成）。好評なので、配布できるところへ届けることになりました。（我孫子市消費生活センター了解済み）このお知らせと一緒に配布します。見やすいところに張って有効にお使いください。

自分の関わっている団体等に配布できる方は部数を和田または加藤にご連絡ください。11月の定例会の時お渡しします。

インフルエンザと重なると重症になる恐れがあるのではないかと報道されています。できるだけ早くインフルエンザワクチンを摂取した方が良いと。

## 11月定例会

日時 11月2日（月）13:30～16:30

会場 我孫子南近隣センター 8F 調理室

議題 見学会等について

## 12月定例会

日時 12月7日（月）13:30～16:30

会場 我孫子南近隣センター

8F 第一会議室

議題 これからの活動について



## 市民の子カラまつり終了

A4（紙のサイズ）で提出した消費者の会の紹介（先月配布）をA1に伸ばしてけやきプラザの展示場に、A3にしたものはアビスタに、9月27日まで展示されました。9月26日は、ZOOMで話し合いも行なわれましたが、和田は用があって参加しませんでした。

新型コロナの影響はあちこちに広がっていますが、出来ることを探して行なっていくしか仕方ありませんね。

## あなたが食べているパンは大丈夫？

### 農薬グリホサート汚染の実態

9月26日、弁護士神山美智子さんが会長の「食の安全・監視市民委員会」の総会記念講演として、副会長の天笠啓祐さんが講演されました。加藤さんと和田が聞きに行きました。その日に配られた会報にも掲載されていたので、少し長くなりますが、抜粋しながら報告します。

### ラウンドアップとグリホサート

アレルギーや発達障害など、子どもたちの間で広がっている健康障害の主な原因の一つに、農薬があることが指摘されてから久しくなりました。日本政府は農薬の使用に関して野放し状態、残留基準も緩和を行ってきました。この緩和は食料輸入を促進するためです。このまま進むと、人々の健康は一層危なくなります。

グリホサートは世界中でずば抜けて多く使用されている除草剤です。モンサント社が1970年に開発したもの。1974年にグリホサートを主成分に「ラウンドアップ」という商品名で販売を開始。そして現在まで、世界中で100万トンが散布されました。作物だけでなく、芝生、公園、ゴルフ場、

河川敷、校庭など、さまざまところで散布されてきました。

この除草剤が劇的に増えていくのが、1996年の遺伝子組換え (G M) 作物の栽培開始です。モンサント社が除草剤耐作物を開発し、ラウンドアップとセットで販売したからです。

使用料が増えるにつれ、人体汚染が拡大・深刻化していきます。WHO (世界保健機関) が発ガン性 (非ホジキリンリンパ種の原因) を認めました。グリホサートはモンサントで開発され、(その後ドイツのバイエル社が買収) アメリカの裁判で敗訴。

グリホサートは2000年にモンサントの特許権が無くなり、日本では2002年に日産化学に生産・販売権が譲渡され、今はスーパー、ホームセンター、インターネットなどで山積みになれ販売されています。

### なぜパンの汚染がひどいのか

北米で作られる小麦は「春小麦」といって春に種を蒔き秋に収穫されるものが多いのです。雑草や虫も多い時期です。農林水産省の分析データでも、北米産は97%、カナダ産100%、オーストラリア産16%、フランス産13%。北米大陸が圧倒的に多いのです。

春小麦は、太陽の光が強い時期に育つため、グルテンが多く、強力粉を作るのに適しています。その輸入強力粉を使って日本の企業は食パンや菓子パンを作るので、分析するとグリホサートが0.08 (PPM) 位の高い値で出てきました。逆に、国産の小麦を使ったパンからは、「痕跡」という極微量を検出されたほかは検出されませんでした。(分析機関農民連分析センター)

ではどうしたら良いのでしょうか。「グリホサート系除草剤を禁止させることが必要です」と天笠さんは言われました。多くの方がその危険性を知らないで使っています。使っている人がいたら、「危険」だと伝えて止めさせましょう。自治体に働きかけて止めさせましょう。食べ物を変える運動を行ないましょう。学校給食にも働き掛けをと。

### 塩のマイクロプラスチック？

マイクロプラスチックについては昨年度の消費生活展でも取り上げました。東京農工大学の高田秀重教授が、東京湾でとれたカタクチイワシの体内からマイクロプラスチックを検出し、食の安全について警告を寄せられたと伝えました。

その後、海水から作った食塩に入っているか？と話題になりました。これについても、「食の安全・安心市民委員会」の総会で調査結果が発表されました。(生活クラブ生協が、デジタルマイクロスコープ VHX500で検査。コロナで検査機関が閉鎖されたため)

スーパーマーケット、デパートなどで買い求めた8種類を調べた結果、1種類を除いて「観察されず」という結果が出ました。

「観察されず」という食塩の名前を記します。  
・なるとの塩・国産塩・瀬戸のほんじお・塩・海  
の精ほんしお・五島灘の塩・日本海水

繊維片/青色/1.3mm、繊維片/青色/1.6mmを検出した「天海の平釜塩」については再度検査機関に送るとのことでした。

### お気をつけください！怪しいメール！

パソコンにフィッシング詐欺のメールが毎日入ります。

有名企業や金融機関を装ったメールを送信し、偽装されたURLをクリックさせることで、個人情報を取得しようというオンライン詐欺です。10月19日までは、見れば簡単にわかる名前のメールだったので、1日15通くらい入っても絶対に開かずに削除していました。

10月19日の朝、「特別定額給付金再給付申請手続代行を始めました」というメールが入りました。丁度前日のNHKニュースで、このような詐欺メールが流行していると言っていました。

どうぞ気をつけてください。

～ ～ ～ ～ ～

どこかに付いたコロナウィルスは9日間位人に発症させる可能性があるとの実験結果が出ました。気を引き締めて生活しましょう。